

	活動支援対象団体名	認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ	作成日	2025年2月22日～3月27日		
	活動支援担当者名	小松真弓 石山由美	支援期間	2025年2月～2027年2月		
	支援対象団体名	NPO法人あいあう	2年後の目指す姿	1) 事務局の強化(NPO会計基準に応じた会計処理ができる) 2) ビジョン・ミッションの再確認と、持続可能な運営がでくる組織づくり 3) ファンドレイジング力の向上 4) 地域資源、ステイクホルダーとの連携の強化		
	支援対象団体担当者名	代表理事 平出京子				
No.	実施内容	スケジュール	実施主体	期待する結果（支援対象団体）	期待する結果（むすびえ）	関連する短期アウトカム
1	ビジョン・ミッションの再確認と、持続可能な事業計画づくり	2025年3月～2026年12月	支援対象団体	・財務基盤を含め組織体制を整えていくことの必要性を共有する ・ビジョン・ミッションを組織全体及びステイクホルダーに周知することで、事業の目的を理解し、組織力を高め、自団体の価値を生み出し、自分達が起こしたい地域の変化と活動が生まれる	・中計の策定 ・戦略的なパートナーシップが構築され、組織の資源が拡大し、地域にとって必要な存在として、資源の地域循環がつくれる	支援対象団体が団体として実行団体になれるだけの自律的な運営・ガバナンス／コンプライアンスの整備ができており、NWとしての運営体制が確定している状態
2	コミュニティオーガナイズング研修	2025年7月12日・13日	むすびえ	・任意団体からNPO法人となったことを改めて自覚し、社会の公器として活動していることの認識を会員が深める ・会員全員が「あいあう」を外に向けて語れるようにする	・支援対象団体が持続可能で影響力のある組織へと成長するための有効な手段となる	支援対象団体をハブに、こども食堂運営者や地域のステークホルダーが連携している状態
3	地域企業との連携	2025年3月～2027年2月	支援対象団体	・地元の中間支援と連携し、団体の情報発信や事業紹介を行うことで、企業寄付を受ける準備を行う	・新潟県上越地域の資源の地域内循環構築に向けての支援が動き出す	支援対象団体をハブに、こども食堂運営者や地域のステークホルダーが連携している状態
4	未来対話ワークショップ	2026年12月	むすびえ	・長期的な視点の獲得:組織の未来像を明確化し、戦略的な活動を推進 ・関係者との連携強化:多様な意見交換を通じて、協働関係を構築	・支援対象団体が、未来予測に基づき、柔軟かつ持続可能な組織運営を実現することで、社会の変化への対応力が向上する	支援対象団体をハブに、こども食堂運営者や地域のステークホルダーが連携している状態
5	財源の特徴とファンドレイジング成功のためのポイントの再確認	2025年3月～2026年12月	支援対象団体	・さらに助成額の大きな、全国的に助成金にチャレンジすることで、ファンドレイジングの手法を獲得する	・支援対象団体が成長することにより、地域へのインパクトが増し、地域が変わる	支援対象団体が広報FRの基礎を体得し、団体の強みや課題が整理されてドナーピラミッドの作成や中期計画アクションプランの策定など中間支援対象団体として運営資金を獲得するための戦略が策定されている状態
6	広報・FRセミナー、戦略策定伴走	2025年10月、11月	むすびえ	・広報力の強化:情報発信力の向上、認知度向上、共感獲得 支援者・協力者増加・「あいあう」の活動を今以上に多くの市民に知ってもらえる ・資金調達力（FR）の向上:寄付や助成金獲得の機会増加 安定的な運営基盤の確立・あいあうとしてFRを働きかけるターゲットを明確にすることができる ・活動内容と関連する企業及び団体が法人会員として増加する ・戦略策定能力の向上:組織の目標明確化、活動の効率化 社会的な影響力拡大持続可能な活動の実現	・支援対象団体が、社会的な使命をより効果的に果たし、地域にインパクトが生まれる	支援対象団体が広報FRの基礎を体得し、団体の強みや課題が整理されてドナーピラミッドの作成や中期計画アクションプランの策定など中間支援対象団体として運営資金を獲得するための戦略が策定されている状態

7	ファンドレイジング専門家による伴走支援	2025年11月～2026年3月	むすびえ	・ 会員による具体的なファンドレイジングノウハウの獲得ができる ・ 理事全員が会員拡大や寄付のお願い活動ができるようになる ・ 継続的、安定的な法人等の会員、寄付者が拡大する ・ N P O の財務基盤が強化・安定する ・ 事務局専任職員を置くことができるようになる	・ 効果的な寄付者獲得、関係構築、資金管理が実現し、組織の持続的な成長と社会的インパクトの最大化に貢献する	支援対象団体が広報FRの基礎を体得し、団体の強みや課題が整理されてドナーピラミッドの作成や中期計画アクションプランの策定など中間支援対象団体として運営資金を獲得するための戦略が策定されている状態
8	事務局の強化(NPO会計基準に応じた会計処理ができる)	2025月3月～2026年3月	支援対象団体	・ 会計基準の基本原則や概要、基礎的な事務処理をまなび、財務諸表の分析ができるようになることで、経営判断する力が身につく	・ 正確な運営事務を行えるようになり、全国規模の助成金の獲得及び休眠預金実行団体となり、経営の安定化が図られる	支援対象団体が実行団体として応募するため事業運営が適切になされ、実績が証明できている状態
9	月1ミーティングの実施	2025月3月～2027年3月	支援対象団体	・ 当該プログラムについて理解を深め、組織基盤強化に取り組む持続可能な連携体制が作られる	・ 自立した組織運営が強化され、そのノウハウがむすびえに蓄積される	支援対象団体が実行団体として応募するため事業運営が適切になされ、実績が証明できている状態
10	基盤整備セミナー開催	2026年2月、9月	むすびえ	・ 「あいあう」が任意団体からN P O法人となったことを改めて自覚 ・ 組織運営の効率化:内部管理体制の強化、法令遵守の徹底 リスク管理能力の向上 ・ 事業の安定化:財務基盤の強化、人材育成の促進、組織全体の信頼性向上	・ 支援対象団体が、組織運営の基礎を築き、持続可能な活動を支える力をつけ、支援対象団体が社会的な使命を達成する	支援対象団体が実行団体として応募するため事業運営が適切になされ、実績が証明できている状態
11	学びあいプラットフォーム	2025年4月以降	むすびえ	・ 公器として活動していることの認識を会員が深める	・ 団体の活動が他地域での学びの対象となっている	学びあいプラットフォームが立ち上がり、本事業終了後も定期的な勉強会が自発的に継続できて地域ネットワーク団体の事業に活用されている状態